

加湿機能付き温冷風扇

QS414

取扱 説明書



家庭用 本製品は日本国内でご使用ください。

このたびはお買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
この取扱説明書は大切に保管してください。

ご使用前に

安全上のご注意	1~2
各部の名称	3
設置について	4
リモコンについて	4~5
キャスターを取り付ける	6
水タンクに水を入れる	6~7
保冷剤を使う	7

使いかた

運転する(送風モード)	8
停止する	8
風量を切り替える	8
冷風モードに切り替える	9
温風モードに切り替える	9
加湿モードに切り替える	10
風の向きを変える	11

困ったときは

イオンモードを設定する	11
オフタイマーを設定する	12
本体を移動する	12
お手入れ	13~14
保管のしかた	15
故障かな?と思ったら	16
仕様	17
セット内容	17
別売品	17
アフターサービス	18
カスタマーサポート	18
保証書	裏表紙

ご使用前に

安全上のご注意

お使いになる方や他の方々への危害や財産への損害を未然に防ぐため、ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく使用してください。また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことを日頃から点検してください。

■誤った取扱いをしたときに生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷に結びつく可能性がある内容です。

注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または物質損害に結びつく可能性がある内容です。

■図記号説明



禁止(してはいけない)を示します。
具体的な内容は文章で示します。



指示する行為の強制(必ずすること)を示します。
具体的な内容は文章で示します。

警告



●電源プラグはコンセントに確実に差し込む
ショートによる火災や感電の原因になります。



●コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しない
火災・感電・やけどの原因になります。



●濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・けが・やけどの原因になります。



●電源コードや電源プラグを乱暴に扱わない
●重いものをのせたり、機械に挟んだりしない
●損傷したものは使用しない
火災・感電・故障の原因になります。



●電源コードを束ねたまま使用しない
過熱による火災の原因になります。



●電源コードをコンセントから抜くときは電源
コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜く
電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。



●電源プラグのほこりや汚れは拭き取る
湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



●ご使用時以外または長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化により、火災や感電の原因になります。



●延長コードやテーブルタップを使用しない
コンセントや電源コード、電源プラグが異常発熱し、発火するおそれがあります。



●家庭用100V電源(容量15A・1500W)を単
独で使用する
異なる電圧での使用は、火災・発熱・故障の原因
になります。

警告



●分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。



●屋外で使用しない
火災・感電・故障の原因になります。



●水回り、風呂場など湿気の多い場所、水のか
かる場所では使用しない
●本体を水につけたり、水をかけたりしない
●濡れた手で使用しない
火災・感電・故障の原因になります。



●コンセントのすぐ下で使用しない
火災の原因になります。



●火気に近づけたり、火気の近くでは使用しない
●強い衝撃を与えない
本体の変形によるショートや発火の原因になり
ます。



●スプレー缶や引火性のものの近くで使用しない
爆発や火災の原因になります。



●高温になる場所や湿気、ほこりの多い場所に
放置、保管しない
動作異常による発煙、発火の原因になります。



●電源コードを引っ張って本体を移動させたり、
持ち上げたりしない
電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。



●本体のすき間や開口部にピンや針金などの
異物、指などを入れない
感電・やけど・けが・故障の原因になります。



●子どもなど取り扱いに不慣れな方だけで使わ
せたり、乳幼児やペットの手の届くところに保
管しない
感電・けが・やけどの原因になります。



●包装用ポリ袋は子どもの手の届かない場所に
保管する
誤ってかぶったり、首に巻き付いたりすると、窒
息による死亡の原因になります。



●必ず運転を停止して電源プラグをコンセント
から抜いてからお手入れをする
感電やけがの原因になります。



●ストーブやガスコンロなどの燃焼器具に向け
て使用しない
火災ややけどの原因になります。



●異常や故障のときは、直ちに使用を中止して、
電源プラグをコンセントから抜く
《異常の例》
・電源を入れても運転しない。
・電源コード、電源プラグが異常に熱い。
・運転中に異音や焦げ臭いにおいがする。
異常があると思われた場合はお買い上げの販
売店またはクワッツカスタマーサポートまでご相談
ください。

注意



●業務用として使用しない

負担がかかり、破損や故障の原因になります。



●薬品などの周囲では使用しない

薬品によって本体が劣化し、破損するおそれがあります。



●テレビ、パソコン、オーディオ機器などの近くで
使用しない

雑音が入ることがあります。



●製品の上に物を置いたり、座ったりしない

転倒や破損によるけがや事故の原因になります。



●風を長時間、直接身体に当てない

健康を害するおそれがあります。



●フィルターや背面カバーを外したまま使用しない

事故や故障の原因になります。



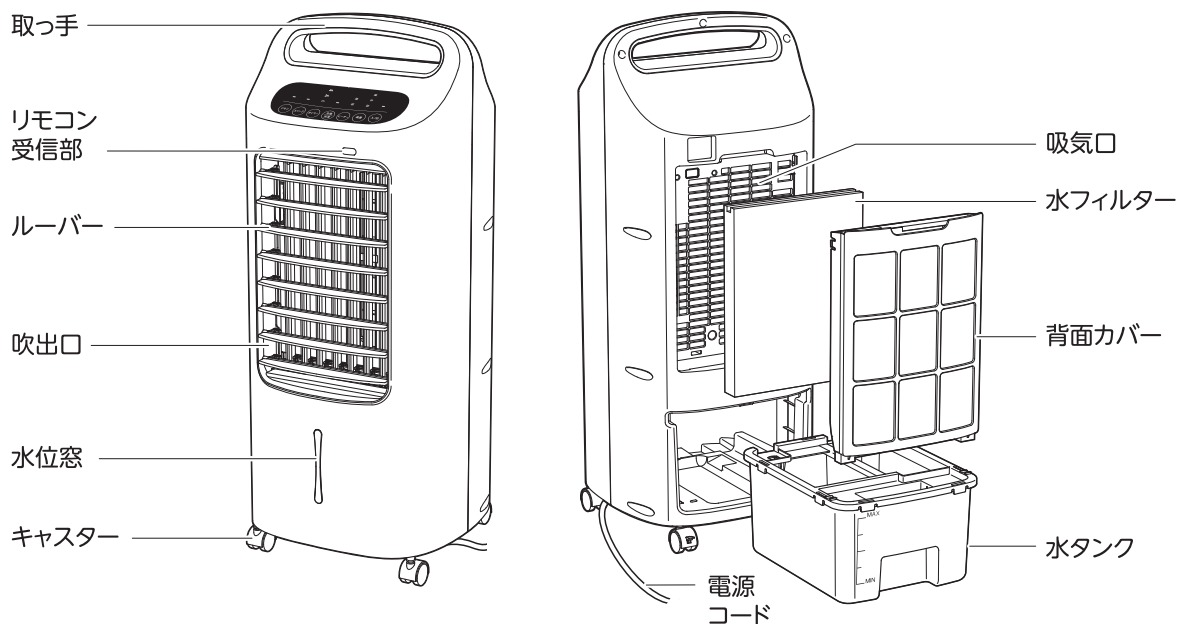
●定期的にお手入れをする

「使いかた」のお手入れに従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。

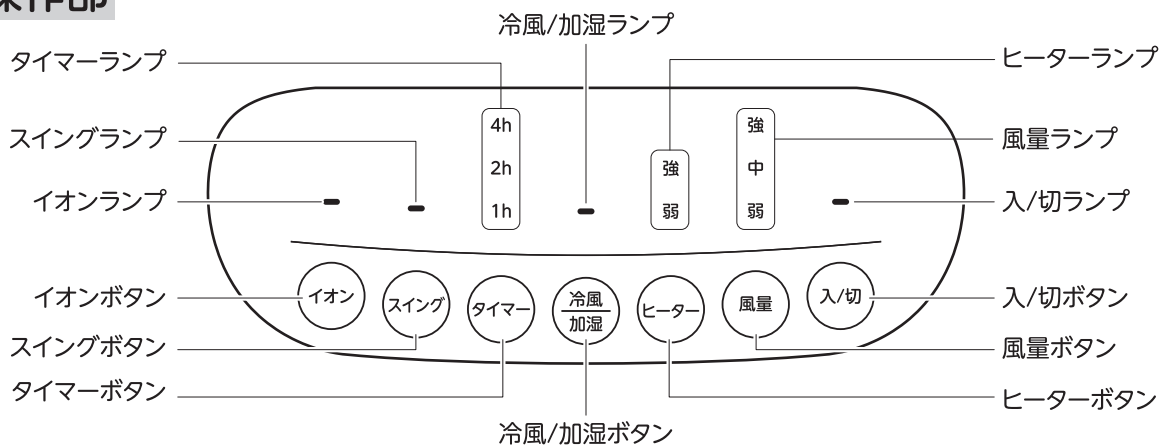
ご使用の前に

各部の名称

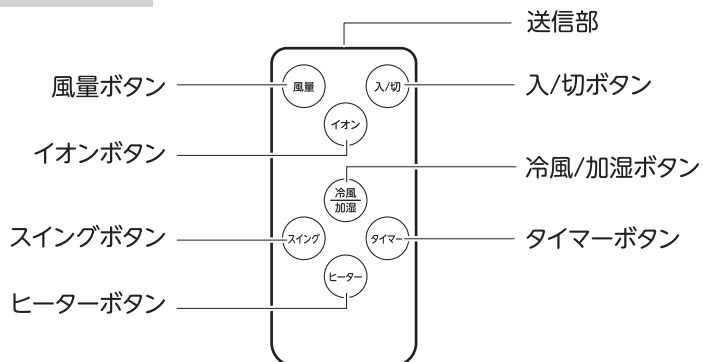
本体



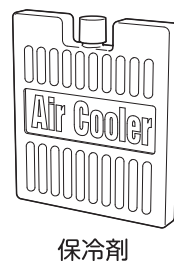
操作部



リモコン



付属品



設置について

⚠ 警告



●安定した平らなところに設置する

不安定な場所に設置しないでください。倒れたり、落ちたりして、火災やけがの原因になります。

⚠ 注意



●吹出口や吸気口をふさがない

発熱・発火・故障の原因になります。



●衣類の真下に設置しない

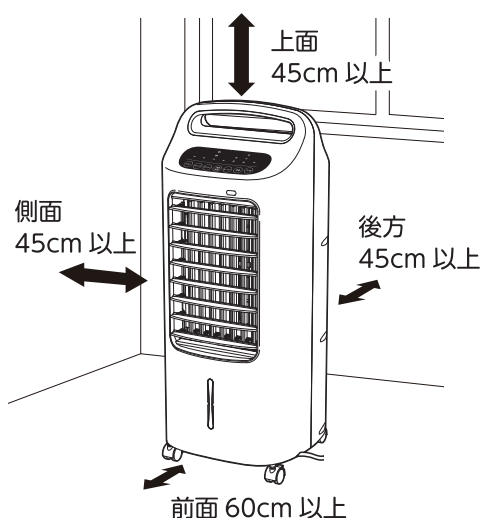
衣類が落下した場合、吸い込みによる故障の原因になります。



●設置した場所に跡や傷が付かないように注意する

●障害物がなく、水平な床に設置してください。

●本体にPOPシールやタグがついている場合、ご使用前に取り外してください。



リモコンについて



警告

●ボタン型電池の取り扱いには十分注意する

発熱や破損、感電・けが・やけどの原因になります。



- 指定以外の電池を使わない
- +と-を逆にして使わない
- 充電・分解・加熱しない
- ショートさせない
- 火の中に入れたり、加熱したりしない
- 水につけたり、濡らしたりしない
- 子どもの手の届くところに置かない
- 子どもがなめたり飲み込んだりしないように注意する など



警告

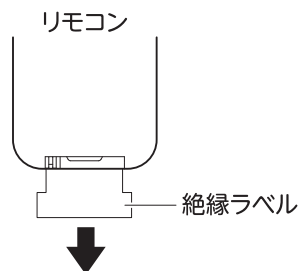
●ボタン型電池を素手で取り扱わない



- 電極(+/-)を素手で同時に触ると、消耗を早める原因になります。
- 汗や手油などが付着すると、接触不良の原因になります。

リモコンにはボタン型電池がセットされています。
ご使用前に電池の絶縁ラベルを引き抜いてください。

※製品に付属しているボタン型電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。

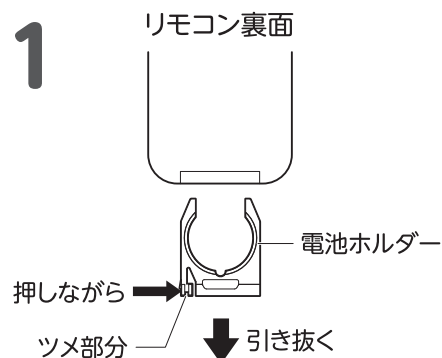


ご使用の前に

電池の交換

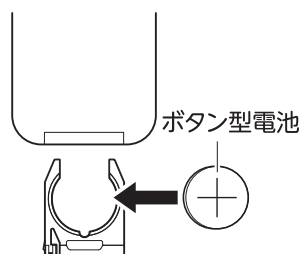
使用するボタン型電池はリチウム電池「CR2032」1個です。

1



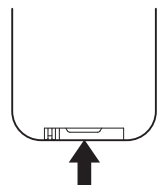
電池ホルダーのツメを、矢印方向に押しながら引き抜きます。

2



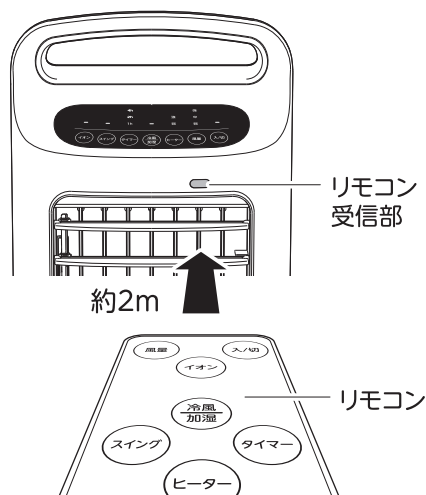
新しいボタン型電池の【+】を上にしてセットします。

3



電池ホルダーを「カチッ」と音がするまでリモコン本体にはめ込みます。

操作範囲



リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に向けて使用してください。

操作距離は直線で約2mです。

※テレビやオーディオのリモコン等を使用した際、まれに本体が反応して動作することがあります。これは本製品と同じ周波数を利用している機器で起きる現象です。そのような場合は本体に影響しない場所でご使用ください。

キャスターを取り付ける



警告



●必ず運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行う
感電やけがの原因になります。



注意



●必ずキャスターを取り付けて使用する
転倒によってけがをしたり、床を傷つけるおそれがあります。

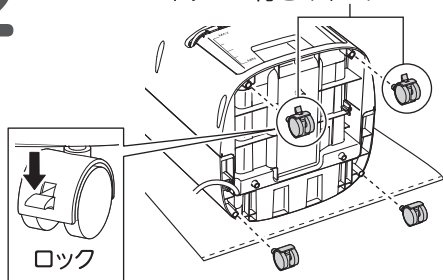


●ストッパー付きキャスターは、ロックした状態で取り付ける
本体が不意に動き、けがや故障の原因になります。

1 タオルなどの柔らかいものを敷き、その上に本体を横倒しにして置きます。
本体を直接置くと、床に傷が付く原因になります。

2

ストッパー付きキャスター



本体底面の四隅の取り付け穴に、付属のキャスターを押し込みます。

※キャスターが外れないように、取り付け穴の奥までしっかりと押し込んでください。

※キャスターは、ストッパー付きとストッパー無しが2個ずつ付属しています。本体背面側にストッパー付きのキャスターを取り付けてください。

水タンクに水を入れる

冷風モード・加湿モードで運転をするときは必ず水タンクに水を入れてください。



警告



●必ず運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行う
感電やけがの原因になります。



注意



●必ず常温の水道水(飲用)を使用する

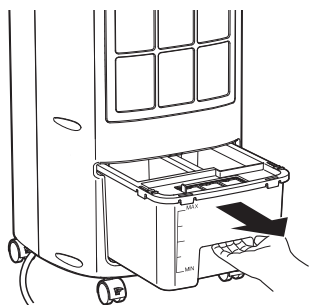
・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・浄水器の水・井戸水などは絶対に使用しないでください。
カビや雑菌が繁殖しやすくなります。

・40℃以上のお湯やアロマウォーター・アロマオイル・化学薬品の入った水などは、本体の変形や故障の原因になります。



●水タンクの水は毎日新しい水道水に入れ替え、水タンクを使用しないときは水を捨てる
水を入れ替えずに使用すると、カビや雑菌が繁殖して、異臭や健康を害する原因になります。

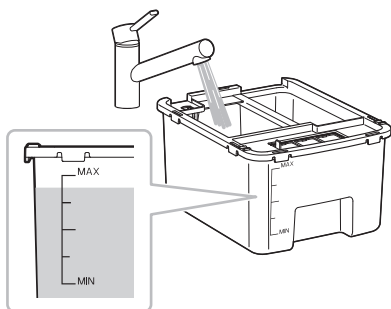
1



水タンクを手前に引き、本体から取り出します。

ご使用の前に

2



水タンクに水を入れます。

※水の量は水位表示の「MIN」と「MAX」の範囲内にしてください。

- ・水が「MIN」の位置以上に入っていないと、冷風モードまたは加湿モードで運転することができません。水位が「MIN」の位置まで下がったら、水を補給してください。
- ・水を「MAX」の位置以上に入れると、水漏れや故障の原因となります。

3

水タンクを本体に戻します。

※水がこぼれないように、ゆっくり戻してください。

保冷剤を使う

冷風モードでさらに冷たい風を出したい場合は、付属の保冷剤を凍らせて水タンクの中に入れてください。



警告



●必ず運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行う
感電やけがの原因になります。



注意



●保冷剤のふたを開けないでください。誤って開けてしまい、保冷剤の中身が皮膚についた/飲み込んだ/目に入った場合は、下記の処置を行ってください。

- ・皮膚についた場合は、すぐに石鹸と水でよく洗ってください。
- ・飲み込んだ場合は、すぐに医師の診断を受けてください。
- ・目に入った場合は、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流し、医師の診断を受けてください。

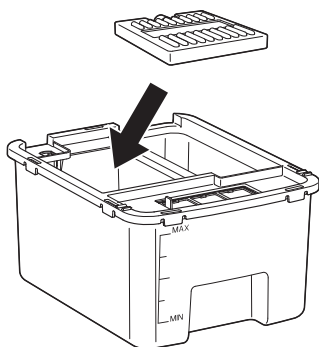


●保冷剤を使用して冷風モードで運転をすると、水タンクが結露し、水滴が床に落ちることがあるので注意してください。

1

保冷剤を冷凍庫で3～4時間凍らせます。

2



水タンクの左側に保冷剤を入れ、水タンクに水を入れます。

※水タンクに水を入れてから保冷剤を入れると、水があふれる恐れがあります。

※水タンクの右側に保冷剤を入れると、正常に冷風モードで運転ができなくなる恐れがあります。

保冷剤の効果がなくなったら、冷凍庫で再度凍らせてください。

使いかた

運転する(送風モード)

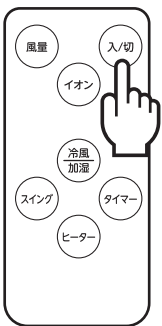
背面カバーを装着していない場合、電源が入りません。また運転時に取り外すと電源がオフになります。

1 電源プラグをコンセントに差し込みます。

2 《本体》



《リモコン》



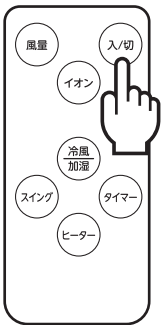
本体またはリモコンの『入/切』ボタンを押します。
「ピッ」と音が鳴ります。
本体の『入/切』ランプが点灯し、送風モードで運転を開始します。

停止する

《本体》



《リモコン》



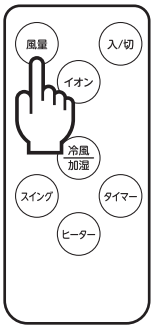
運転中に本体またはリモコンの『入/切』ボタンを押します。
「ピッ」と音が鳴ります。
本体の『入/切』ランプが消灯し、運転が停止します。

風量を切り替える

《本体》



《リモコン》



本体またはリモコンの『風量』ボタンを押します。
「ピッ」と音が鳴ります。
風量に応じて、本体の風量ランプ「弱」「中」「強」が点灯します。
『風量』ボタンを押すたびに、風量が1段階ずつ強くなります。風量が「強」のときに『風量』ボタンを押すと、風量は「弱」に戻ります。

使いかた

冷風モードに切り替える

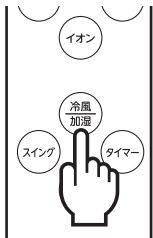
1 水タンクの「MIN」の位置以上に水が入っていることを確認します。

2

《本体》



《リモコン》



本体またはリモコンの『冷風/加湿』ボタンを押します。
本体の『冷風/加湿』ランプが点灯し、冷風モードに切り替わります。
※水タンクの水量が不足しているときはアラーム音が鳴り、冷風モードが停止します。
解除する場合は、再度『冷風/加湿』ボタンを押します。

温風モードに切り替える

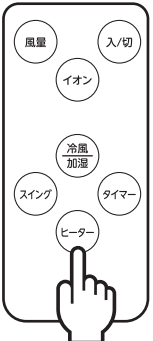
警告 ●温風モードの運転時・運転停止直後はルーバーや吹出口に触らないやけどのおそれがあります。

温風モードから送風モードに切り替えたとき、しばらく温風が出る場合がありますが、故障や異常ではありません。風が冷えるまで60秒ほどお待ちください。

《本体》



《リモコン》

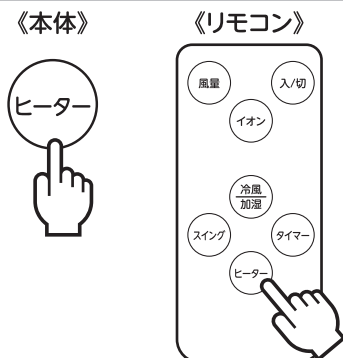


本体またはリモコンの『ヒーター』ボタンを押します。
本体の『ヒーター』ランプが点灯し、温風モードに切り替わります。
ボタンを押すたびに「弱」→「強」→「送風モード」の順に切り替わります。
※温風モード使用時は、風量の調節はできません。

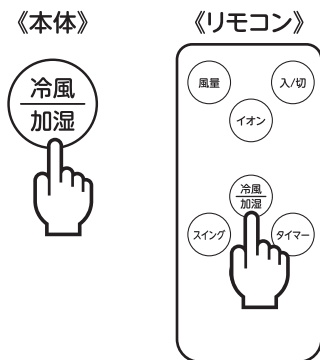
加湿モードに切り替える

1 水タンクの「MIN」の位置以上に水が入っていることを確認します。

2 本体またはリモコンの『ヒーター』ボタンを押します。
本体の『ヒーター』ランプが点灯し、温風モードを開始します。



3 本体またはリモコンの『冷風/加湿』ボタンを押します。
本体の『冷風/加湿』ランプが点灯し、加湿モードで運転を開始します。



※水タンクの水量が不足しているときはアラーム音が鳴り、加湿モードが停止します。

解除する場合は、再度『冷風/加湿』ボタンを押します。

使いかた

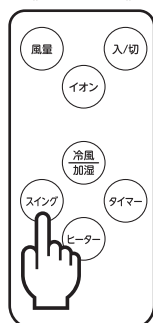
風の向きを変える

左右の向きを変える

《本体》



《リモコン》



運転中に本体またはリモコンの『スイング』ボタンを押します。

『スイング』ランプが点灯し、スイング運転を開始します。

解除する場合は、再度『スイング』ボタンを押します。

上下の向きを変える



運転停止中に本体のルーバーを手で上下に動かします。

ルーバーを1つ動かすと、すべてのルーバーの上下の向きが変わります。

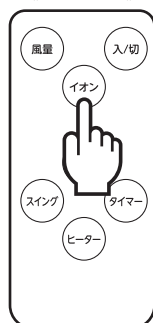
※使用中、使用直後は、ルーバーに触れないでください。

イオンモードを設定する

《本体》



《リモコン》



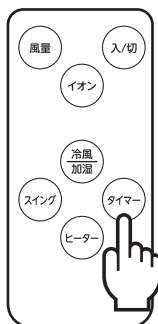
運転中に本体またはリモコンの『イオン』ボタンを押します。

『イオン』ランプが点灯し、マイナスイオンが発生します。

解除する場合は、再度『イオン』ボタンを押します。

オフタイマーを設定する

《リモコン》



電源オンの状態で、本体またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。

「ピッ」と音が鳴り、『タイマー』ランプが点灯します。

『タイマー』ボタンを押すたびに設定時間が切り替わります。

1～7時間の範囲で1時間ごとに設定ができます。

解除する場合は『タイマー』ランプが消灯するまで『タイマー』ボタンを押します。

《本体》

4h	4h	4h	4h	4h	4h	4h
2h	2h	2h	2h	2h	2h	2h
1h	1h	1h	1h	1h	1h	1h



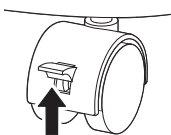
本体を移動する

警告

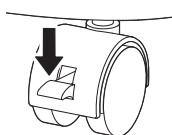
- 本体を移動するときは運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜き、水タンクを取り外す
感電・けが・故障・水漏れの原因になります。
- 電源コードを引っ張って本体を移動させたり、持ち上げたりしない
電源コードが損傷し、火災や感電の原因になります。

注意

- 電源コードを引きずらない
故障の原因になります。
- ストッパー付きキャスターのロックを解除してから移動する
床を傷つける原因になります。



ロック解除



ロック

ストッパー付きキャスターのロックを解除し、取っ手部分をしっかりと持って移動させてください。

※移動させるときは、水タンクを取りはずしてください。

使いかた

お手入れ

ほこりなどが付いたままで使用を続けると、過熱や異常音などの原因になります。
汚れの状態を見て、定期的にお手入れをしてください。

警告



●必ず運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてからお手入れをする
感電やけがの原因になります。



●本体を水につけたり、水をかけたりしない
火災・感電・故障の原因になります。

注意



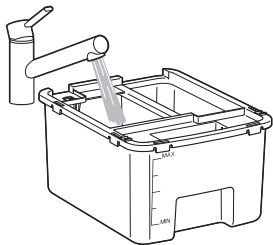
●お手入れには台所用中性洗剤を使用する
塩素系・アルカリ系の洗剤や、シンナー・ベンジン・アルコールなどは使用しないでください。

本体／リモコンのお手入れ

柔らかい布で乾拭きしてお手入れしてください。

※汚れがひどいときは、中性洗剤を浸して固く絞った布で汚れを落として、最後から拭きをしてください。

水タンクのお手入れ(週2回以上)



水タンクに少量の水を入れ、軽く振り洗いし、排水します。

汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を使用してください。

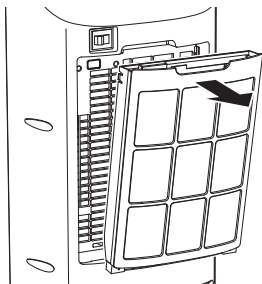
※洗剤が残らないよう、しっかりすすいでください。

吹出口のお手入れ

すき間にたまったほこりを、掃除機で吸い取ります。

吸気口のお手入れ

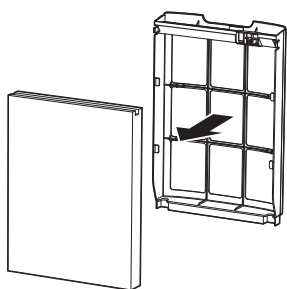
1



取っ手部分を持って手前に引き、背面カバーを取り外します。

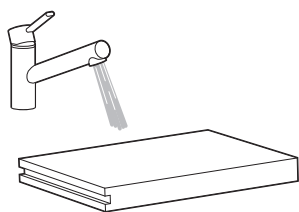
※冷風または加湿モードで運転をしていた場合、運転停止後に約1分待ってから取りはずしてください。フィルターに含まれた水がこぼれて床を濡らす原因になります。

2



背面カバーのツメ部分を横に広げながら、水フィルターを取り出します。

3



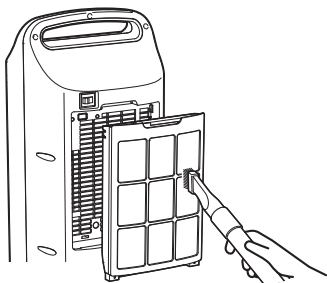
水フィルターを水洗いして、よく乾燥させます。

※次の場合は、水フィルターを新しいものに交換してください。

- ・お手入れしてもにおいや汚れが取れない。
- ・傷みがひどい。

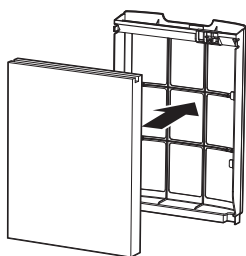
⇒部品の交換については、17ページの「別売品」を参照してください。

4



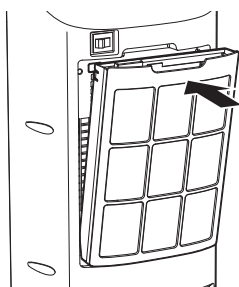
背面カバーの防塵フィルターと吸気口に付着したほこりを、掃除機で吸い取ります。

5



背面カバーに水フィルターを取りつけます。

6



背面カバー下部のツメを本体の取付穴に差し込み、背面カバー上部を押して取りつけます。

使いかた

保管のしかた

- お手入れのあとは各部の水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。
※湿ったまま保管すると、カビの発生や異臭、故障の原因となります。
- お買い上げ時の箱に入れるか、ポリ袋などで包み、直射日光を避け、湿気の少ない所に保管してください。

⚠ 注意



●ボタン型電池を保管、廃棄する際は、電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼る

- 複数のボタン電池が重なり合うと、電極がショートして破裂や発熱を引き起こし、火災につながるおそれがあります。
- 廃棄する際は、お住いの市町村の指示に従ってください。
- ヘアピンやコインなどの導電物と一緒に保管したり、持ち運んだりしないでください。



●長時間リモコンを使用しないときは、ボタン型電池をリモコンから取り出す

- 液漏れや腐食により、リモコンが故障する原因になります。
- 液漏れを起こした場合はすぐに電池を取り出してください。
- 漏れた液が体に付着した場合はよく洗い流してください。万一、液が目に入った場合はすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流し、医師の治療を受けてください。

困ったときは

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目の確認をお願いします。

こんなとき	もしかしたら	対処方法
運転しない	電源プラグが抜けている。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源が入っていない。	『入/切』ボタンを押してください。
	背面カバーが取り付けられていない。	安全装置が働き電源が入りません。背面カバーをしっかりと取り付けてください。
運転が停止した	オフタイマーが働いて停止した。	引き続き使用する場合は『入/切』ボタンを押してください。
	水タンクの水量が不足している。	冷風モードまたは加湿モード設定時に、水タンクの水量が少なくなると、運転を停止します。水タンクに水を入れ、運転を再開してください。
冷風モード、加湿モードで運転ができない	水タンクの水量が不足している。	水タンクの「MIN」の位置以上に水を入れてください。
風が弱い	風量が「弱」になっている。	『風量』ボタンを押して、風量を「中」または「強」にしてください。
	吹出口、吸気口にほこりがたまっている。	お手入れをして、吹出口、吸気口のほこりを取り除いてください。
リモコンで動作しない	ボタン型電池が消耗している。	新しいボタン型電池に交換してください。
	ボタン型電池の向き(+/-)が間違っている。	ボタン型電池を正しい向きに入れ直してください。
	本体のリモコン受信部にリモコンを向けていない。またはリモコンとリモコン受信部の間に障害物がある。	障害物を取り除き、リモコンを本体に向けてください。また、誤作動などが発生する場合は、本体の設置場所を変更してください。
	本体とリモコンとの距離が離れている。	操作距離は直線で約2mです。操作位置または本体の設置場所を変更してください。
	本体のリモコン受信部とリモコンの送信部が汚れている。	本体のリモコン受信部とリモコンの送信部のお手入れをしてください。
運転音が大きい	不安定な場所に置いている。	水平で安定した場所に置いてください。

※上記の点検を行っても異常がある場合は、クワッツカスタマーサポートまでご連絡ください。

長年ご使用の製品は必ず点検を行なってください。

このような症状はありませんか？

- 焦げ臭いにおいがする。
- 電源コードや電源プラグが折れ曲がったり破損している・異常に熱い
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- その他の異常や故障がある



事故防止のため使用を中止し、
電源プラグをコンセントから抜き、
販売店またはクワッツカスタマーサポートまでご連絡ください。

困ったときは

仕様

本体サイズ／重量	幅30.5×奥行30.4×高さ75.8cm／約6.57kg
電源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	温風モード 強:1200W／弱:900W、冷風モード 弱:40W
材質	ABS、PP
風量設定	3段階切替(強／中／弱)
温度設定	温風モード:2段階切替(強／弱) ※風量切替不可
首振り	上下ルーバー(手動)、左右ルーバー(自動)
オフタイマー	1～7時間(1時間単位)
主な機能	冷風モード／温風モード／送風モード／加湿モード／イオンモード
水タンク容量	約5.5L
最大加湿量	約350ml/h
コード長	約1.8m
1時間当たりの電気代	温風モード 強:約37.2円／弱:約27.9円、冷風モード 弱:約1.24円 ※31円/1kWhで算出

セット内容

部品名	個数
本体	1
保冷剤	1
キャスター(ストッパー付き/ストッパー無し)	各2
リモコン(テスト電池内蔵)	1
取扱説明書(保証書付き)	1

別売品

クワッズオンラインストアにて別売品のご注文を承っております。

部品名	部品型番	個数
水フィルター	QS414-FILTER	1
保冷剤	QS414-ICEPACK	1



クワッズオンラインストア
はこちらから
(<https://quads-official.stores.jp/>)

※上記の費用以外に送料がかかります。

- ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 仕様および外観、付属品は改良のため予告なく変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

アフターサービス

別売品のご購入について

クワッズオンラインストアをご確認ください。
<https://quads-official.stores.jp/>



保証書

必ず販売店印およびお買い上げ日をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

※通信販売などでお買い上げの場合は、販売店の購入明細、日付の入った代金引換の領収書などが販売店印の代わりとなりますので、大切に保管してください。

修理をご依頼されるとき

■保証期間中

商品と保証書をお買い上げ店にご持参、ご提示のうえご相談ください。
保証書に記載されている保証規定に基づき修理または交換のご案内をいたします。

■保証期間を経過しているとき

お客様のご要望により有料で修理のご案内をいたします。
※送料はお客様負担となります。

カスタマーサポート

弊社ウェブサイトにて製品情報および製品情報サポートをご確認いただけます。

<https://quads.co.jp>

メールでのお問い合わせはこちら

support@quads.co.jp

お電話でのお問い合わせはこちら ※通話料はお客様負担です

0570-00-8897 受付時間 平日10:00～12:00、13:00～16:00(土日祝、弊社休業日を除く)

LINEでの
お問い合わせは
こちらから



「故障かな?と思ったら」、「よくあるお問い合わせ」をご確認のうえ、お問い合わせください

お問い合わせの際は以下の項目をご確認ください。

■品番 ■品名 ■お買い上げ日 ■お買い上げ店名 ■お問い合わせ内容

※時間帯により電話がつながりにくい場合があります。あらかじめご了承ください。

※電話番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにおかけください。

※電話番号、受付時間などについては、変更になることがあります。

販売元 株式会社QUADS(クワッズ)

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-9-6 目黒ベガタワー1F